

環境経営レポート

～2024年6月期版～
(2023年度)



対象期間 : 2023年7月～2024年6月

発行日 : 2024年10月29日



株式会社 新和電工



認証番号 0011072

代表者ごあいさつ

水、空気、エネルギー、食料・・・私達の命は、地球からの様々な恩恵を受けて成り立っています。

そんな中、私達は自分たちの欲求を満たすために資源環境に対して過度の負荷をかけてしまっています。

近年、全世界的に持続可能な社会への目標としてのSDGsやカーボンニュートラルに対する取り組みが本格化してまいりました。

私達新和電工も、強く意識してこの目標に邁進していきます。

そして、社内だけではなく、社外の方、特にお客様や学生の方にも有益な情報を発信して参ります。

私たちは、電気というエネルギーを軸に地球環境はもとより、経済活動の発展や、多様な働き方、経済や心の豊かさを実践していく企業になるよう、これからも努力を続けていく所存です。



代表取締役 長嶋 義博

目 次

代表者ごあいさつ・目次	1
1. 企業理念・経営理念	2
2. 経営ビジョン	3
3. 事業概要	4
4. SDGsへの貢献	6
5. 会社概要	7
6. 環境経営方針	9
7. 環境経営システム体制と役割	10
8. 環境経営目標・計画及びその実績	12
9. 今期の主な環境取組の内容紹介	20
10. 今期環境活動における法令遵守状況	21
11. 代表者による全体評価と見直し結果	22

1. 企業理念・経営理念

企業理念

私たち新和電工は、仕事を通じ個人の創意と努力で自己を高め、その中から優しさや勇気といった、人間としての本当の価値観を確立していく、そんな「人財」を育て社会に貢献していきます。

経営理念

1. 企業の基本的使命

お客様や時代・社会から求められる、最適な設備を提供し、社会に必要とされる会社でありつづけます。

2. 会社の将来像や目指す方向性

我々は、高い専門性を持ち、実績を積重ねることによって、お客様から信頼され続ける企業を目指します。

3. 社員全員に対する基本的な考え方

我々は、安定した生活を保証し、仕事に大きな意義や誇りを持つことによって、社員一人一人が豊かな生活を送れるよう努力します。

4. 市場に向けた会社の優位性

お客様のご要望を、直接お聞きし、理解して、的確かつ迅速に対応する会社を目指します。

2. 経営ビジョン

- 1 長期目標として、完工高50億、社員数120名を目指す。
- 2 お客様満足度、社員満足度を高めるためには、社員の心と体の健康が第一であり、重点的に施策を行う。
- 3 当社の発展は、社員の能力向上そのものと考え、技術力、教養、人間力の向上を重点的に目指す。
- 4 当社の事業については引き続き、直需のお客様主体に展開していくこと、直需に近い事業パートナーとなり得る企業と協力していく。
- 5 異業種、他企業と「協業」することによって相互の発展を目指す。



海洋研究開発機構 外灯改修 テニスコート

3. 事業概要

当社は、製造工場をはじめ多くの施設・設備において新築、リニューアル、メンテナンスのプランニング、御提案、施工を行っています。

製造工場の電気設備工事



オフィスビル電気設備工事



学校施設電気設備工事



文化施設電気設備工事



保守・メンテナンス工事



リニューアル工事



環境エネルギー設備工事



その他工事



株式会社 新和電工

営業部

業務部

工務部

管理部門

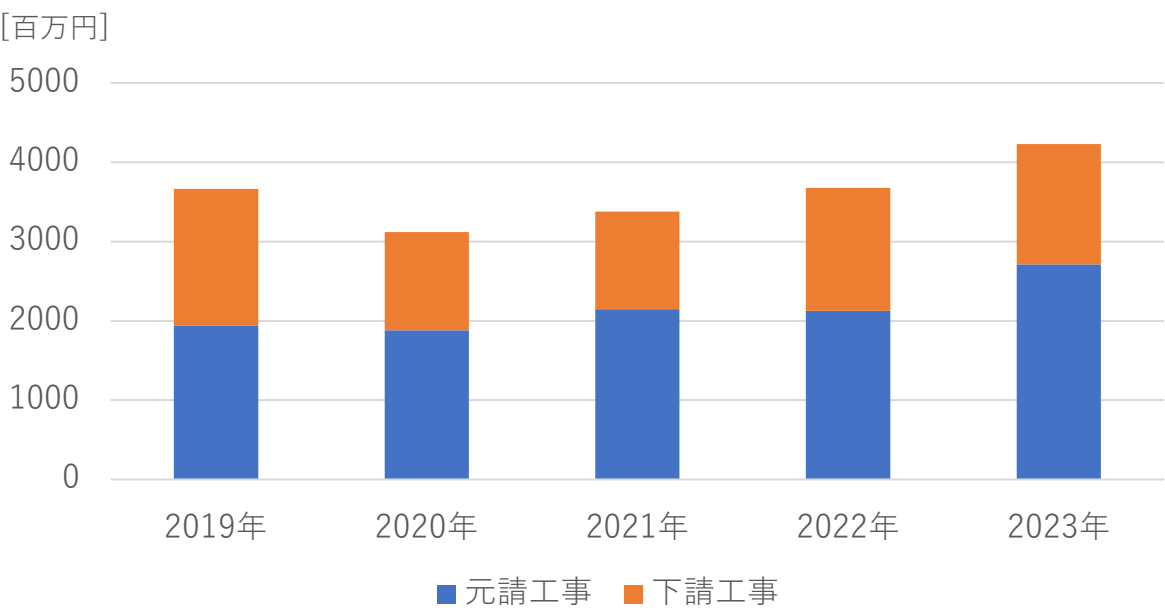
埼玉営業所

横浜営業所

3. 事業概要

過去5年間の元請・下請工事割合の実績

製造工場のお客様向けの工事を始め、官庁・民間共に常にお客様に寄り添い施工を行って参りました。



直近の主な請負工事実績

完成年月	工事名称
2023年 9月	特別養護老人ホーム江東ホーム電気設備改修工事
2024年 1月	横須賀本部外灯改修工事
2024年 3月	大島九丁目外街路灯等改修工事
	東雲二丁目外街路灯等改修工事
2024年 6月	江東区立明治小学校校舎その他電気設備工事



江東区立明治小学校 校舎廊下



特別養護老人ホーム江東ホーム
機能回復訓練室

4. S D G s への貢献

当社は、事業活動を通じて S D G s（持続可能な開発目標）の目標達成に貢献しています。

当社事業活動による S D G s 目標への貢献

S D G s 17の目標		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
当社の 事業活動		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	クリーンなエネルギーをみんなに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任・つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
経営・事業	①市場・顧客ニーズ調査								○	○								
	②新規顧客の開拓								○	○								
	③受注高拡大への取組								○	○								
	④継続的顧客訪問								○									○
	⑤環境経営の積極推進				○			○					○	○	○	○		
	⑥働き方改革の推進					○			○	○			○					
	⑦業務改革の継続								○				○					
製品・施工	①積極的提案型営業							○	○	○		○						
	②新技術による設計・施工							○	○	○								
	③環境配慮製品・設備活用							○				○		○				
	④省エネ・省資源施工							○						○				
	⑤安全・衛生配慮施工			○									○					
	⑥協力会社との連携強化								○	○								○
職場・従業員	①働きやすい職場環境整備			○					○									
	②多様な人材の雇用			○		○					○							
	③従業員の研修・教育				○						○							
	④従業員の健康管理			○					○									
	⑤女性が働く職種の拡張					○												
	⑥外国人雇用の取組み										○							○
地域社会	①積極的広報活動												○					○
	②地域社会との交流											○						○
	③ステークホルダーとの対話												○					○
S D G s 関連数		0	0	4	2	3	0	5	10	8	3	3	6	3	1	1	0	6

5. 会社概要

- 事業者名及び

代表者名

株式会社 新和電工

代表取締役社長 長島 義博
- 本社所在地

〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8
- 会社設立及び

設立年月日 1962年10月1日

資本金

資本金 4,200万円
- 事業内容

電気設備工事及び建築関連工事
- 事業所及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	事業内容	認証登録対象該当否
本社	東京都江東区大島1-9-8	オフィス活動 見積設計業務	該当
埼玉営業所	埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎町25-7		該当
横浜営業所	神奈川県横浜市中区南仲通3-30-2		該当

■ 環境管理責任者連絡先

環境管理責任者	所属	総務部	役職	部長	氏名	後藤 圭一
環境担当者	所属	業務部	役職	主任	氏名	工藤 友弘
連 絡 先	住 所	〒136-0072 東京都江東区大島1-9-8				
	T E L	03-5628-2111		F A X	03-5628-2132	
	E-Mail	gotoh@shinwa-dk.co.jp				

■ 事業の規模

項目	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
売上高 (百万円)	3,666	3,120	3,377	3,675	4,233
従業員数 (人)	87	90	95	96	102
床面積 (㎡)	1,618.40	1,618.40	1,618.40	1,618.40	1,618.40

■ 事業の為の主な許可取得状況

許可の内容	許可番号	許可年月日 有効年月日	許可事業の範囲
建設業の許可	国土交通大臣許可 (特-4)第136号	2022年9月13日 2027年9月12日 ※電気通信工事業のみ 2022年9月15日 2027年9月14日	電気/建築/土木/左官/管/石/板金/ タイル・レンガ・ブロック/舗装/ 防水/塗装/熱絶縁/とび・土工/大工/ 鋼構造物/屋根/しゅんせつ/鉄筋/ 水道施設/ガラス/内装仕上/ 建具/電気通信
	国土交通大臣許可 (般-4)第136号		消防施設
登録電気工事業者届出	東京通商産業局長 届出 第48007号	1973年9月13日 -	一般用電気工作物 自家用電気工作物

5. 会社概要

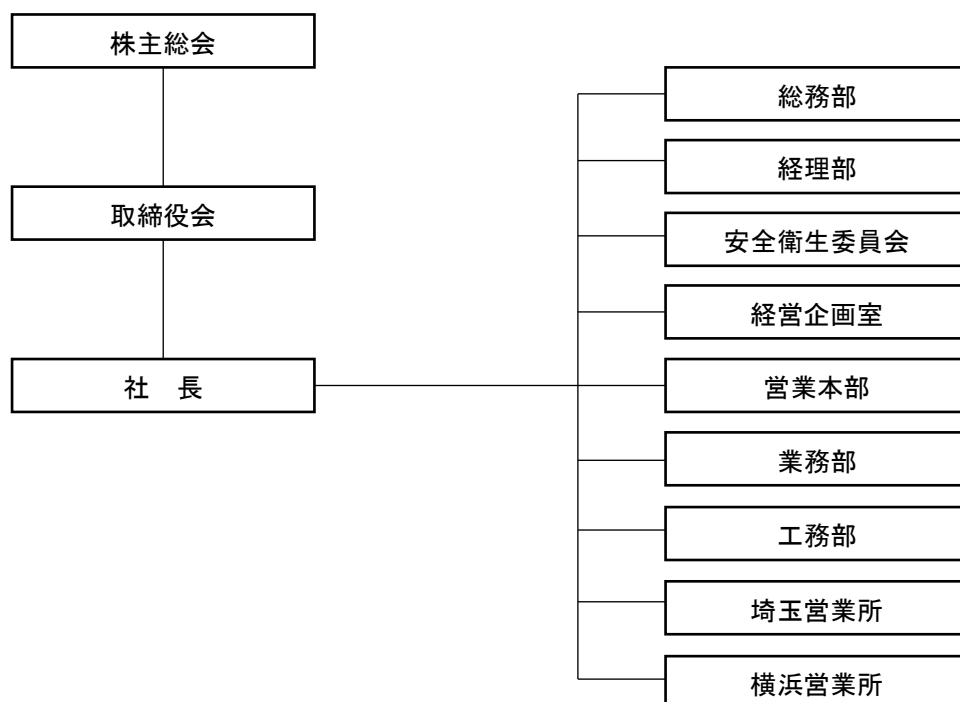
■ 技術者数

1級電気工事施工管理技士	39名	2級建築士	1名
1級建築施工管理技士	2名	第一種電気工事士	49名
1級土木施工管理技士	1名	第二種電気工事士	18名
1級管工事施工管理技士	1名	消防設備士(甲種第4類)	17名
1級電気通信工事施工管理技士	1名	第一種電気主任技術者	1名
2級電気工事施工管理技士	11名	1級建設業経理事務士	1名
2級管工事施工管理技士	1名	2級建設業経理事務士	4名

■ 沿革

年 月 日	経 歴
1958年 4月	新和電工創業
1962年10月	株式会社 新和電工を設立
1978年 4月	埼玉営業所開設
1995年 4月	横浜営業所開設
2016年 2月	エコアクション21認証取得
2019年 7月	エコアクション21対象事業所を全社に拡大
2022年 8月	エコアクション21中央事務局より感謝状受領

■ 会社組織



6. 環境経営方針

【 環境経営の指針 】

株式会社 新和電工は、理念に基づき、事業経営における環境への取組の重要性を強く認識し、当社の電気設備工事に適合した環境経営システムを構築し運用することにより、環境に配慮した事業活動並びに製品サービスの提供に取り組み、企業力向上を図るとともに環境保全に寄与することを宣言します。取組にあたっては、環境関連法規等遵守し、次の基本的方向に基づき全従業員参画により、環境活動を実践するとともに環境経営の継続的改善を図ることを宣誓します。

【環境経営取組の重点分野】

1. 二酸化炭素排出量の抑制

- ① 事業所内における節電に取り組みます。
- ② 現場事務所における節電に取り組みます。
- ③ エコドライブを意識し、車両の節燃に努めます。

2. 廃棄物排出量の抑制

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に取り組みます。
- ② 建設工事に関わる産業廃棄物発生の抑制及び適正処理に努めます。
- ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3. 水使用量の削減

- ① トイレ、手洗い、キッチン利用時の節水に努めます。
- ② 建設工事に関わる水使用量の抑制に努めます。

4. 化学物質使用量の削減(管理)

- ① 化学物質を使用する場合は、適切に使用量管理を行います。

5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

- ① お客様への省エネ、環境配慮型製品の情報提供と導入提案を促進します。
- ② 環境配慮型工事の受注拡大に努めます。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定：2015年4月1日

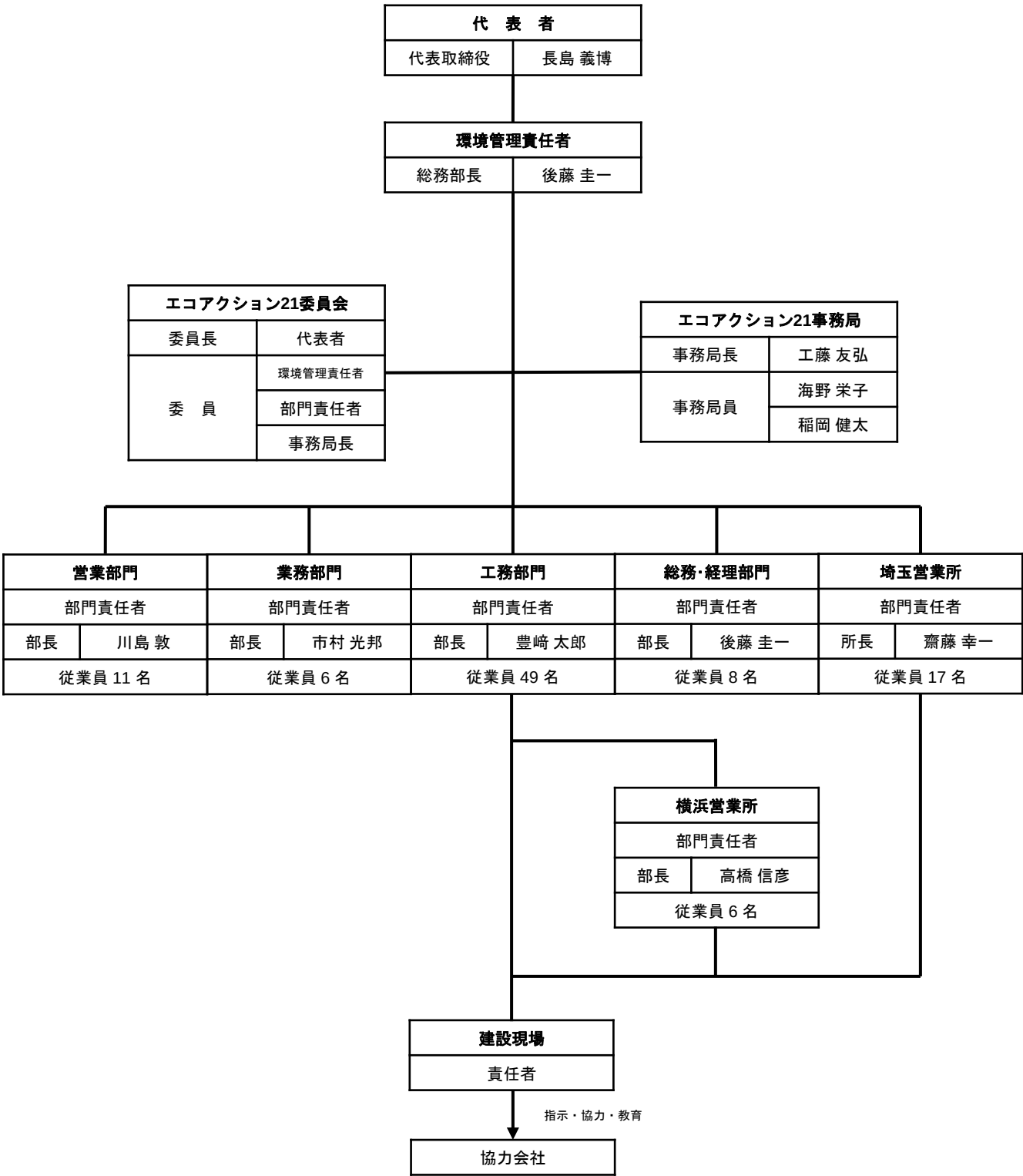
改訂：2019年7月1日

 株式会社 新和電工

代表取締役 長島 義博

7. 環境経営システム体制と役割

I 実施体制図



7. 環境経営システム体制と役割

Ⅱ 役割、責任及び権限

対象者	役割、責任・権限
代表者	・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・ 環境経営に関する方針(環境経営方針)を定め、誓約する。 ・ 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め、周知する。 ・ 環境経営に必要な資源(人・もの・資金・情報)を用意する。 ・ 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・ 環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・ 全社組織へのEA21活動実施の統括 ・ EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・ 内外環境コミュニケーションへの対応 ・ 問題点の是正処置の統括
EA21委員会	・ 環境経営方針等決定事項の社内伝達 ・ EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ EA21活動に関する事務
部門責任者	・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 ・ 部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・ 問題点の是正処置、予防処置の実施
工務部責任者	・ 工事施工にあたっての環境配慮の徹底 ・ 工事における節電、節水及び適正な廃棄物処理
協力会社	・ 当社EA21環境方針に準拠した、現場作業における環境配慮の実施 ・ EA21活動に関する提案
従業員	・ 環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・ EA21活動に関する提案

8. 環境経営目標・計画及びその実績

I 環境目標と目標値・実績値

環境目標項目				基準年	年度目標			2023年度の実績	
				2022年度実績値	2023年度	2024年度	2025年度	2023/7～2024/6	目標達成
原単位指標 売上高			百万円	3,675	—	—	—	4,233	—
1 二酸化炭素排出量の削減	(1)電気使用量の削減		kwh	168,350	166,667	164,983	163,300	110,114	○
	購入電力CO ₂ 調整後排出係数	0.376	Kg-CO ²	63,300	62,667	62,034	61,401	41,403	
	CO ₂ 排出係数適用年度	2022年							
	(2)太陽光発電量		Kwh	12,490	数量把握	数量把握	数量把握	13,670	—
	(3)化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	67,373	66,699	66,026	65,352	64,945	○
		2.32	kg-CO ²	156,305	154,742	153,179	151,616	149,629	
		軽油	L	2,391	2,367	2,343	2,319	2,760	×
		2.58	kg-CO ²	6,169	6,107	6,045	5,984	7,121	
	二酸化炭素排出量計		Kg-CO ²	225,774	—	—	—	198,153	—
	原単位二酸化炭素排出量 (CO ² 排出量合計/売上高)		Kg-CO ²	61.4	60.8	60.2	59.6	46.8	○
(4)車両平均燃費の向上	ガソリン	km/L	11.25	11.36	11.36	11.36	11.79	○	
	軽油	km/L	6.54	6.60	6.60	6.60	7.60	○	
2 削減 廃棄物排出量の	廃一般棄物	廃棄排出量	T	3.12	3.09	3.09	3.09	3.25	×
		資源リサイクル	T	0.21	数量把握	数量把握	数量把握	0.18	—
	廃産業物	廃棄排出量	T	42.14	数量把握	数量把握	数量把握	53.90	—
		資源リサイクル	T	354.79	数量把握	数量把握	数量把握	351.01	—
	廃棄物資源リサイクルの割合		%	88.7	88.7	88.7	88.7	86.7	×
3 水使用量の削減		水使用量	m ³	491	486	486	486	512	×
4 化学物質の管理		使用量の把握	Kg	—	使用量把握	使用量把握	使用量把握	0	—
5 自らが提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善		環境配慮型工事の件数	件	520	数量把握	数量把握	数量把握	445	—
		総受注金額	百万円	4,211	—	—	—	4,221	○
		環境配慮型工事の金額	百万円	3,356	—	—	—	3,407	
		受注割合	%	79.7	79.7	79.7	79.7	80.7	

全社合計の実績値とする。
実績達成状況は次の通りとする。 ○ → 目標達成(100%～) × → 目標未達成(～99%)

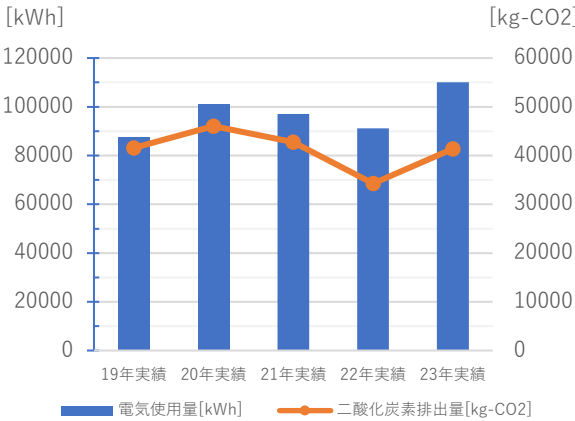
8. 環境経営目標・計画及びその実績

Ⅱ 各項目の具体的取組内容と取組結果

① 電気使用量の削減

年度		2021年度	2022年度	2023年度
目標値[kWh]		100,177	99,165	166,667
実績値	電気使用量[kWh]	97,025	91,135	110,114
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	42,788	34,267	41,403
達成率		103.2%	108.8%	151.4%

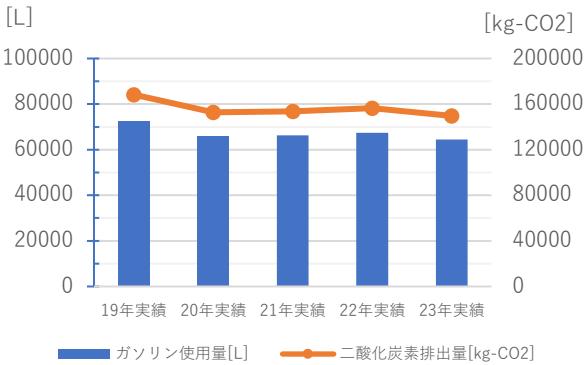
注記
二酸化炭素排出量算出に使用した購入電力CO2排出係数は、東京電力2022年度調整後排出係数としている。
(尚、2021年度実績値は2020年度調整後排出係数の数値となる)
2023年度目標値は、2022年度末で使用終了したガス使用量相当を加味した数値



環境活動計画取組内容		取り組み結果と評価		次年度の取組内容
①	照明の適正管理	適正利用を確認	○	継続して実施
②	空調の適正管理	適正利用を確認	○	継続して実施
③	休憩時の消灯	継続して実施	○	継続して実施
④	退社時のパソコン電源OFF	更なる啓蒙が必要	△	情報管理を含めた啓蒙活動を行う

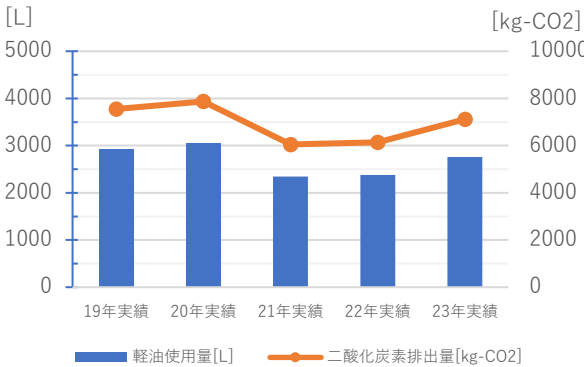
②ーⅠ ガソリン使用量の削減

年度		2021年度	2022年度	2023年度
目標値[L]		65,151	64,493	66,699
実績値	給油量[L]	66,242	67,373	64,495
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	153,682	156,305	149,629
達成率		98.4%	95.7%	103.4%



②ーⅡ 軽油使用量の削減

年度		2021年度	2022年度	2023年度
目標値[L]		3,020	2,990	2,367
実績値	給油量[L]	2,344	2,379	2,760
	二酸化炭素排出量[kg-CO2]	6,049	6,137	7,121
達成率		128.9%	125.7%	85.8%



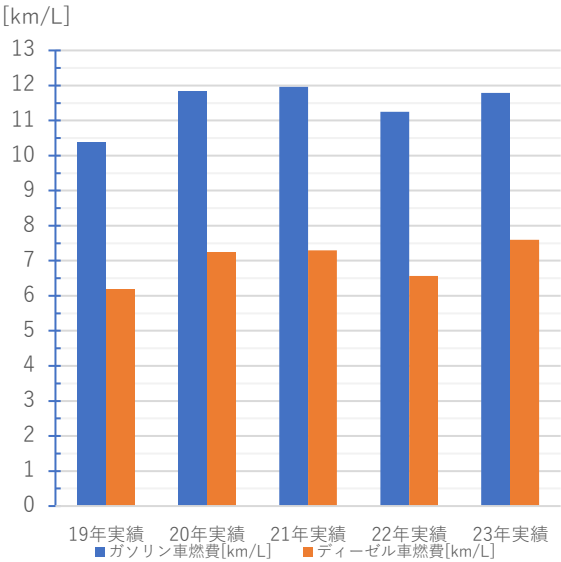
8. 環境経営目標・計画及びその実績

②ーⅢ 化石燃料使用量削減の総括

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 急発進・急減速の抑制	継続して実施	○	継続して実施
② 車内空調の適正使用	継続して実施	○	継続して実施
③ アイドリングストップの励行	継続して実施	○	継続して実施
④ 車移動時の乗合促進	継続して実施	○	継続して実施

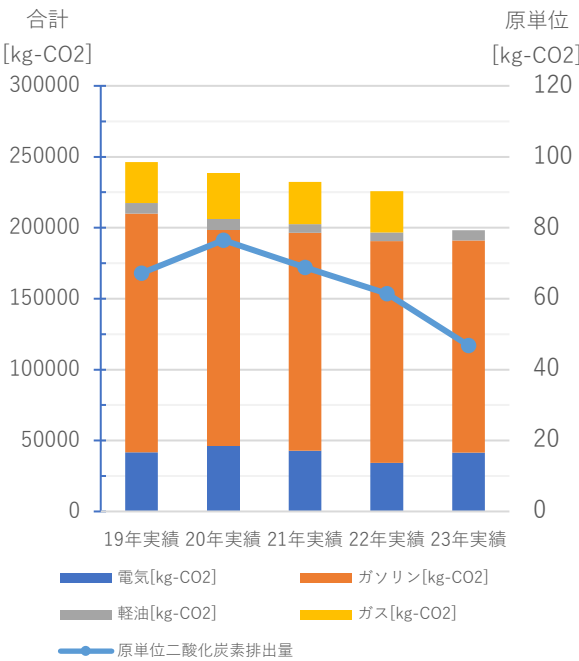
③ 車両の燃費向上

年度		2021年度	2022年度	2023年度
ガソリン	目標値[km/L]	11.96	12.08	11.36
	実績値[km/L]	11.80	11.25	11.79
	達成率	98.7%	93.1%	103.8%
軽油	目標値[km/L]	7.30	7.38	6.60
	実績値[km/L]	7.07	6.57	7.60
	達成率	96.8%	89.0%	115.2%



④ 二酸化炭素排出量の総括

年度	2021年度	2022年度	2023年度
合計二酸化炭素排出量[kg-CO2]	232,344	225,742	198,153
原単位(売上高)[百万円]	3,377	3,675	4,233
原単位目標値[kg-CO2]	75.3	74.5	60.8
原単位CO2排出量[kg-CO2]	68.8	61.4	46.8
達成率	109.4%	121.3%	130.0%



8. 環境経営目標・計画及びその実績

二酸化炭素排出量削減に関する総括

これまで新型コロナウイルスの影響を加味した目標値で取り組んできたが、今期は影響を受けない目標(2022年度基準)として見直し取り組んできた。結果、多くの項目で目標を達成することが出来た。

前期実施した本社空調機のEHP化に伴い、ガス使用量相当分を加味した目標値として電気使用量の管理を行ったが、予想以上に二酸化炭素排出量が抑えられており、設備更新に伴う省エネ化を実感する結果となった。

ガソリン・軽油については共に燃費が向上した結果となった。ガソリンは給油量自体も減っており、ハイブリッド車への置き換え効果が確実に出ている結果となっている。また、軽油については給油量自体は増えているものの、燃費は上がっており、社員のエコドライブ意識向上も感じられる結果となった。

今期は設備更新に伴う省エネ・社員の意識変化による省エネの両面で目標達成出来たと考えている。設備更新は定期的に実施(管理会社に提案)し、社員への啓蒙活動は社内勉強会の機会を増やし定期的に実施していきたい。

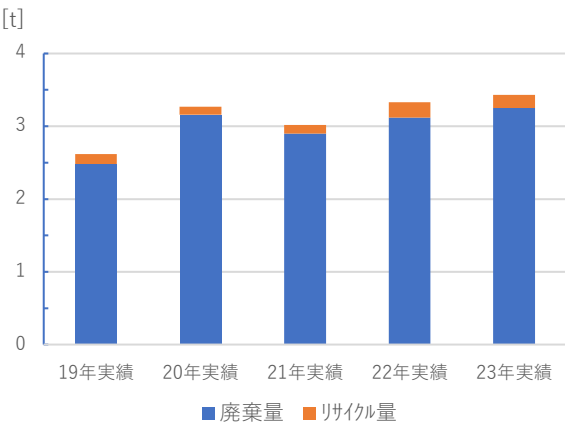


海洋研究開発機構 外灯改修 車路

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑤－Ⅰ 一般廃棄物の削減

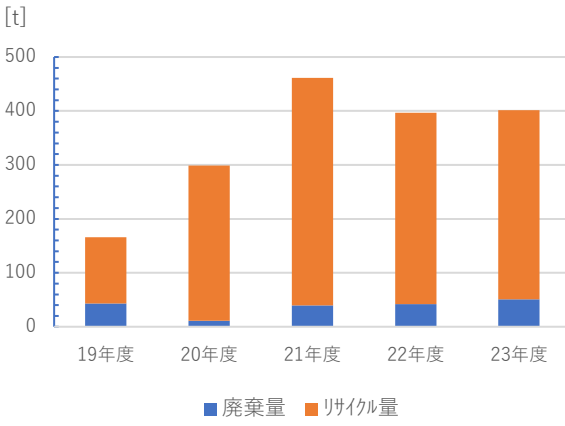
年度		2021年度	2022年度	2023年度
廃棄排出量目標値[t]		3.13	3.09	3.09
実績値	廃棄排出量[t]	2.90	3.12	3.25
	資源リサイクル量[t]	0.12	0.21	0.18
達成率		107.9%	99.0%	95.1%



環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① ゴミの分別徹底	継続して実施	○	継続して実施
② ペーパーレスの促進	継続して実施	○	継続して実施
③ コピー・印刷ミスの低減	継続して実施	○	継続して実施

⑤－Ⅱ 産業廃棄物の削減

年度		2021年度	2022年度	2023年度
実績値	廃棄排出量[t]	39.33	42.14	50.65
	資源リサイクル量[t]	422.26	354.79	350.84

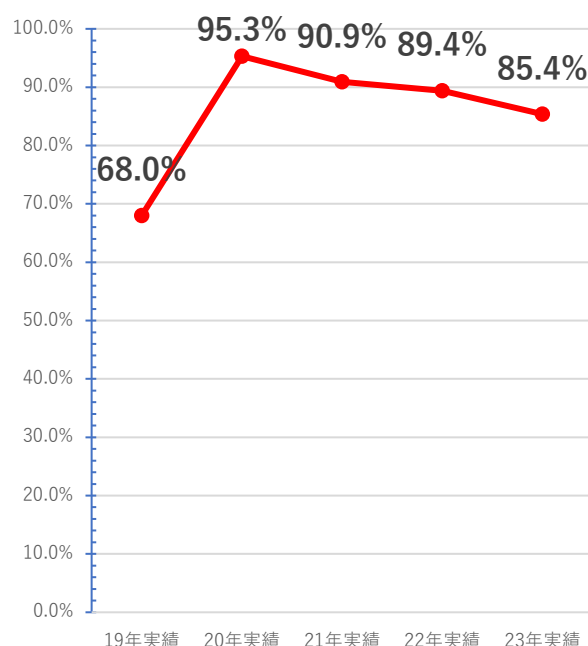


環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 分別の徹底	継続して実施	△	さらなる啓蒙活動を行う
② リサイクルの促進	継続して実施	△	さらなる啓蒙活動を行う

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑤ーⅢ 廃棄物のリサイクル率向上

年度		2021年度	2022年度	2023年度
リサイクル率目標値[%]		—	—	88.7
実績値	廃棄物総排出量[t]	464.61	378.93	404.92
	資源リサイクル量[t]	422.38	354.79	351.01
	リサイクル率[%]	90.9	89.4	86.7
達成率		—	—	97.7%



廃棄物削減に関する総括

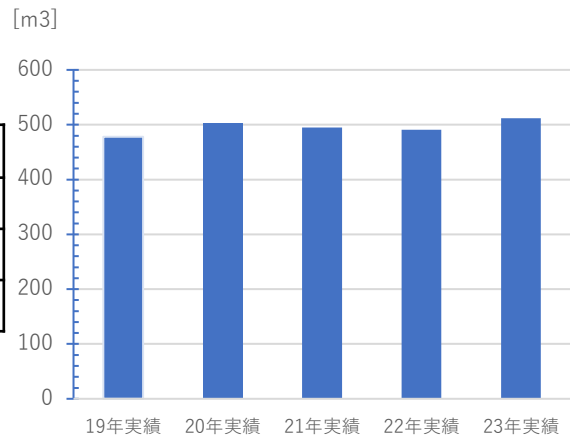
廃棄物については今期も一般廃棄物排出量・廃棄物リサイクル率共に目標未達となった。一般廃棄物については会議におけるペーパーレスを標準とした為、社内では浸透したと考えている。主に社員数の増加が目標未達の要因と考えている為、来期は人数ベースの原単位での管理を行う。

廃棄物リサイクル率については大半が産業廃棄物によるものであり、現場の特性に合わせてどうしても変動してしまう。そのような中でも、現場担当者1人1人が産業廃棄物においてもリサイクルに対する意識を持ち、現場運営を行っていきたい。来期は経験の浅い社員に向けて分別に関する社内教育も重点的に実施する。

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑥ 水使用量の削減

年度	2021年度	2022年度	2023年度
目標値[m3]	497	497	486
実績値[m3]	495	491	512
達成率	100.5%	101.3%	94.9%



環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価	次年度の取組内容
① 節水の徹底	継続して実施 △	継続して実施

水使用量の削減に関する総括

目標を見直して1年間活動を行ったが、目標未達となった。社員数の増加による未達が要因と考えている為、来期は一般廃棄物同様に人数ベースの原単位で目標設定を行いたい。

⑦ 化学物質使用量の削減

2024年6月迄の1年間で化学物質の使用は有りませんでした。

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価	次年度の取組内容
① 化学物質の使用量把握	指定化学物質未使用 ○	継続して実施

化学物質使用量の削減に関する総括

当社において普段、化学物質の使用は行っていないが、PRTR法を始めとした各種関連法規等の熟知と物質の把握を行っていきたい。

8. 環境経営目標・計画及びその実績

⑧ 自らが提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

年度		2021年度	2022年度	2023年度
環境配慮工事比率目標値[%]		82.0	81.0	79.7
実績値	環境配慮工事件数[件]	531	520	445
	総売上高[百万円]	4,059	4,211	4,221
	環境配慮工事売上高[百万円]	3,350	3,356	3,407
	環境配慮工事金額比率[%]	82.5	79.7	80.7
達成率		100.7%	98.4%	101.3%

環境活動計画取組内容	取り組み結果と評価		次年度の取組内容
① 環境配慮工事の提案促進	継続して実施	○	継続して実施

自らが提供する製品の向上及びサービスの改善に関する総括

環境配慮型工事の対象となる工事は、引き続きLED化工事・トップランナー機器の導入更新工事・エコケーブルを使用した工事となる。前期から増加傾向にあったメンテナンス業務から引き続き、修繕工事まで受注する機会が増えたことから今期は目標値を見直し、達成に至った。引き続きカーボンニュートラル等、市場の動向を踏まえて活動を進めていきたい。



海洋研究開発機構 外灯改修 歩道植栽

9. 今期の主な取り組みの紹介

今期の取組について、SDGsも含めて紹介します。

I 勉強会の開催



エコアクション21社内事務局を中心に環境について関心を持ってもらおうと勉強会を開催しています。今期はカーボンオフセットに関する勉強会と、専門学生を対象とした千葉県南房総市【シラハマ校舎】の見学勉強会を開催しました。

II 本社入居ビル受変電改修工事の計画



より環境に配慮した事業活動を実現する為に、ビル管理会社御協力のもと、本社入居ビルの受変電設備の更新工事を計画しています。超高効率トランスの導入をはじめ、太陽光発電設備・EV充電器の導入を盛り込んだ計画となっています。

III ハイブリッド車の導入状況



以前から導入を進めているハイブリッド車ですが、今年は4台導入しました。従来のハイブリッド車からの入れ替えも挟んでいる為、導入率は50%程度を維持していますが、今期の実績値にもあるように、燃費は向上している傾向にあります。

10. 今期環境活動における法令遵守状況

I 環境関連法規等の遵守状況

当社事業及び製品に関する主な環境関連法規等は下記の通りであり、今年度確認の結果、問題は有りませんでした。

遵守状況確認日 2024年 6月30日

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	①廃棄物排出抑制・適正処理 ②保管基準の遵守 ③処理委託業者との二者契約 ④マニフェストの適正管理	①建築副産物の再利用 ②産廃保管場所の特定と表示 ③収集運搬・処分業者との契約締結 ④マニフェスト交付、回収、保管	適正遵守
資源リサイクル法	①資源有効利用基本(3R) ②家電リサイクル法 ③自動車リサイクル法 ④建設リサイクル法	①資源3Rの推進 ②家電リサイクル法の遵守 ③自動車リサイクル法の遵守 ④建設リサイクル法の遵守	適正遵守
省エネ法	○エネルギー使用の合理化	○省エネルギーの推進	適正遵守
騒音規制法	①特定建設作業実施届 ②騒音規制値の遵守	①届出対象作業無し ②工事施工時の施工低減	適正遵守

II 外部からの違反、訴訟等の有無

当社は、環境機関からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまで有りませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について下記の通り、評価と見直しを行いました。

項 目	内 容		
1.見直し実施日	2024年7月22日(月)		
2.出席者	代表取締役、環境管理責任者、部門責任者		
3.報告した情報	① 環境目標達成状況 ② 環境活動計画の実施及び運用結果 ③ 環境関連法規等の遵守状況 ④ 外部からの苦情、要望等		
4.代表者の評価	年々意識は高まってきているが、より一層の研鑽が必要である。 近年業が拡大傾向にあるため、目標の再設定が必要。 内部監査など、前向きな改訂が必要な部分があるので、これらに対応することが重要。BCPやSDGsなどの方策にも有効なので、併せて考え、効果を上げる方法を模索したい。		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変更の内容
	①環境方針	有 ・ 無	
	②環境目標・環境経営計画	有 ・ 無	人数ベースの目標値設定を行う
	③実施体制	有 ・ 無	
	④その他	有 ・ 無	